

## ホテルに行ったら予約が取れていなかった!?

インターネットで予約した旅行に関するトラブルの相談が増加しています。

全国の消費生活センターによせられる旅行に関するトラブルは、年間で3545件(平成27年度)にのぼり、そのうち約半数がインターネットで予約した旅行に関するトラブルです。

「旅行サイトから予約確認メールが届いたにもかかわらず、現地に行ったら予約が取れていなかった」「一度しか予約していないのに代金を二重に請求された」など、消費者が予約時に注意をするだけでは防ぎきれないトラブルがみられます。

また近年では、海外事業者が運営する旅行サイト(以下、海外旅行サイト)に関して「顧客対応窓口の説明が間違っていた」「日本語の顧客対応窓口がない」などの相談もよせ

られています。

インターネットは便利ですが、注意して利用しましょう。

### 相談事例

●旅行サイトで海外のホテルを予約したが、現地で予約が取れていないと言われた。

●予約中「エラー」と表示されたため別の予約をしたら、二重予約になってしまった。

●代金を支払ったが、航空券を受け取らないまま事業者と連絡が取れなくなった。

●予約内容を訂正したいが、日本語の顧客対応窓口がない。

### 消費者へのアドバイス

●契約前に旅行サイトの所在地情報等を確認しましょう。

●申込みを完了する前に、解約料などの契約条件や予約内容をよく確認しましょう。

●システムエラーなど、消費者が注意しても防げないトラブルもあります。

●海外旅行サイトの場合、コミュニケーションを取るのが難しいケースがあります。

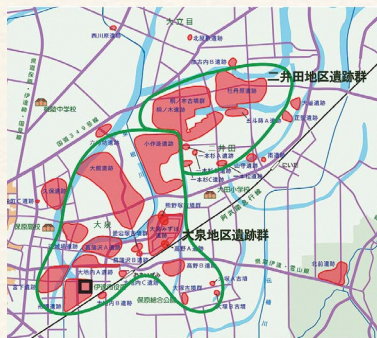
心配なときは、伊達市消費生活センターにご相談ください。

## 地域の魅力 ふる里再発見

### 伊達市内の古墳時代

#### 第7回 保原町大田地区の古墳時代遺跡(4)

大田地区の古墳時代遺跡のグループは、大きく二つに分けることができます。一つは古い東根川が西から北に大きく蛇行してできた自然堤防に立地するグループ(大泉地区遺跡群)です。このグループは古墳時代前期(4世紀)に集落が営まれはじめます。中心は大泉みずほ遺跡から菖蒲沢遺跡あたりでしょうか。そして、この集落は中期～後期(5～7世紀)には西方に広がったと思われまます。これらの集落を維持した生産基盤は水田稲作です。後背湿地や旧河道部などを利用して水田が営まれたと思われる。この大泉地区遺跡群の墓地にあたる遺跡が、大泉みずほ遺跡および周辺の古墳です。集落の構成と同じように4世紀から7世紀の墳墓が集中しています。小高い微高地に竪穴住居や高床の倉庫で構成された村が営まれ、住居の周辺には畑地が伴っている。緑豊かな田園風景がイメージできます。さらに村々の一面に土饅頭を並べたような古墳群が形成されたいかと思われまます。



大泉地区遺跡群と二井田地区遺跡群

もう一つのグループが二井田地区遺跡群です。このグループが前者と異なるのは、集落が後期から始まっているという事です。後期に集落の分離・拡大が起こったと考えまます。大田小学校の北方付近から梁川方面へ蛇行する旧河川による自然堤防に立地しています。桐ノ木古墳群が二井田地区遺跡群の墓地になるでしょうか。

古墳時代には鉄製農具の普及や、土木技術(古墳築造)の向上に伴う灌漑技術(水路構築)の発達によって、沖積地の開発が進み、人口も多くなったと言われています。大田地区の古墳時代遺跡群の発達過程は、このような古墳時代の特質をよく現しているといえることができます。